

【保護者の皆様向け】

令和元年度 後期 府本小学校学校評価

令和元年度 後期 府本小学校学校評価アンケートの考察と対策

アンケート期間：令和2年2月17日（月）～21日（金）

回収状況：児童 76/76（前回96.1%→今回100%）

保護者56/56（前回96.5%→今回100%）

教職員12/12（前回100% →今回100%）

【総評】

○まずは、回答率三者**ともに100%提出！**この見事なすばらしい数字には、感動と感謝の気持ちでいっぱいです。なにはともあれ、子供たちも保護者の皆様も、学校に気持ちが向かっている証。ありがとうございます。いただいた評価をしっかりと受け止め、今後の学校経営に生かしていきたいと思えます。

○微減傾向にあるものの、三者ともに概ね良好といえます。

○なかでも気になるのが「家庭学習の在り方も含めた家庭でのメディアコントロール」や「あいさつ、ことばづかい、登下校、そうじなどの基本的な生活習慣」です。これらは一般的な傾向ですが、具体的実践項目を設定して意味のある取組をしたいと考えます。

↓

（例）廊下を走らない＝走った児童は、戻って歩き直す。 など。

来年度取組として考えているのが・・・

- （1）「自学ノート掲示コーナー」を設置し、いい自学の例を見ることで、家庭学習の充実を図る。
- （2）全家庭に「我が家のメディアルール」を作ってもらい、年3回程度点検する。
- （3）「節目ごとに縦割り班掃除」を実施し、望ましい掃除の在り方を通して、つながりや奉仕の心を育てる。

【個別分析】◎きわめて良好 ○良好3.5↑ □標準的 △▲課題あり2.9↓

（1）子どもたちは学校で楽しく学んでいるか。

	教職員	保護者	児童
前期	3.3□	3.7○	3.7○
後期	3.4□	3.7○	3.7○

（関連～H30後：親3.6子3.7）

○基本良好。引き続き全体指導と個別指導との双方を意識した教育活動を進めていく。4段階の1（楽しくない）はゼロだが2は数名いるので配慮したい。

○毎月心のアンケートや連絡帳などをおしてフ

フォローをしていきたい。

(2) 学校は学力向上の取組を工夫しているか。

	教職員	保護者	児童
前期	3.2□	3.4□	3.8◎
後期	3.3□	3.1□	3.8◎

(関連～H30後:親3.3子3.6)

○保護者の評価が微減となったことを真摯に受け止め、校内研修等で授業改善に努めていく。県学調や全国学調、NRT全国標準などは、全体的に良好であるが、数値だけでなく、思考・判断・表現等の力も伸ばしていきたい。

(3) 学校は心の教育に力を入れているか。

	教職員	保護者	児童
前期	3.1□	3.6○	3.9◎
後期	3.3□	3.4□	3.8◎

(関連～H30後:親3.4)

○道徳の授業を要として、取り組んでいるが、心は学校だけでは育たないのであり、家庭や地域社会との連携協力の在り方を今後も模索していく。

◎道徳公開授業なども引き続き進める。

(4) 学校は体力や健康を考えた取組をやっているか。

	教職員	保護者	児童
前期	3.1□	3.5○	3.8◎
後期	3.2□	3.5○	3.7◎

○部活動が社会体育移行した分、運動量が落ちた児童もいようが、学校体育での運動量確保や外遊び等を奨励しながら、できることを今後も考えていきたい。

(5) 学校はお知らせや連絡を適切に行っているか。

	教職員	保護者	児童
前期	3.5○	3.6○	3.7○
後期	3.4□	3.4□	3.5○

(関連～H30後:親3.6)

○定期的な学級通信等により、タイムリーな情報提供ができていると考える。今後も素早くわかりやすく発信していきたい。

○ペーパーだけでなく、安心メールや学校HPも効果的に活用したい。

(6) 子どもたちは挨拶や言葉遣いが望ましいか。

	教職員	保護者	児童
前期	2.8△	3.2□	3.5○
後期	3.0□	3.1□	3.3□

(関連～H30後:親3.3子3.4)

○やや低下傾向にある。児童会のあいさつ運動や日常の教室での会話などをしっかりと振り返りつつ、お互いに正し合える関係作りを意識して取り組みたい。

○大人が見ていないところでのあいさつはどうかを検証したい。

(7) 子どもたちはきまり(安全面から掃除にいたるまで)を守っているか。

	教職員	保護者	児童
前期	2.9△	3.1□	3.5○
後期	3.1□	3.2□	3.3□

(関連～H30後:親3.4子3.7)

○大きなくりの問いではあるが、掃除の姿、登下校の姿には、まだまだ改善の余地がある。児童の評価の低下は、各自が意識し始めている証ともとらえ、引き続き指導していきたい。

○掃除の仕方や廊下の歩き方については、具体的な改善策を検討する。

(8) 「早寝早起き朝ご飯」など生活リズムはよいか。

	教職員	保護者	児童
前期	3.0□	3.2□	3.4□
後期	3.0□	3.1□	3.2□

○年度末にさしかかり、新型コロナウイルス感染症の不安がある中、免疫力を維持するためにも、このキーワードは大事にしたいものである。また食事の中身にも着目したい。

(9) 家庭学習とメディアとはバランスがとれているか。

	教職員	保護者	児童
前期	2.5▲	2.7△	3.0□
後期	2.5▲	2.4▲	3.1□

○家庭での過ごし方は、子供たち自身の自覚にたよるところが大きい。「家庭学習習慣」ができていない児童もいるので、今後も重要課題として考えていきたい。

○学校対応だけではなく、PTAとも連携しながら、具体的に継続的な取組を考える。

(10) 学校と家庭、地域はいい関係でつながっているか。

	教職員	保護者	児童
前期	3.1□	3.3□	3.6○
後期	3.0□	3.1□	3.3□

(関連～H30後:親3.5)

○本校は地域からの支援協力が大きい学校。紅葉ウォークや歩け大会などの地域行事に加えて、感謝の会などをおして地域とのつながりを深めていく。地域行事への児童の参画も意識していく。

○保護者との連携については、連絡ノートの活用や随時教育相談を承りながら、信頼関係を深めていきたい。

(11) 家庭には「○時になったらメディアはしません」という約束がある。

	教職員	保護者	児童
前期	—	2.8△	3.0□
後期	—	2.9△	3.0□

○項目(9)家庭学習とメディアとのバランスにもかかわる。SNSがらみのトラブルが後を絶たない昨今、巻き込まれないためにも、「夜は使わない」ことは重要だと考える。

○講師講話などの啓発を年1回以上必ず実施する。

○「各家庭での約束事例」を紹介していく。

○保護者からは、教育指導にご理解と感謝をいただきつつも、引き続ききめ細かな、一人一人を大切にされた指導と支援をお願いしたいという、思いをいただいたりもしました。

○子供たちからは、スポーツ備品(ボールや一輪車)や図書(書籍)をもっと増やしてほしいとの思いが寄せられたりしました。

○ご指摘を真摯に受け止めて、望ましい取組を進めてまいります。次年度の展望として、校長が現在イメージしているものを紹介します。

①起業体験活動「ふもとマルシェ」成果物の校外販売(地域行事)、視野を広げる他校交流(修学旅行の他校合同実施など)。

②NIE教育の拡充。朝自習に新聞を活用したり、漢字検定を広げたり。

③「学びの森」の修復。平成20年度県学びの森推進事業への再申請。

④「坂村真民」生誕の地としての学び拡充(道徳の授業へ導入)。

まだ構想の段階ですが、皆さんに無理をかけない程度に、労力対効果を考え、具現化していけたらと考えています。

100%のご提出そしていろんなご意見、ありがとうございました。しっかりと考え、今後に生かして参ります。